



འབྲུག་རྒྱལ་ཁབ་

ブータン便り

2019年2月4日
第6号

クズザンポーラ！日本は節分を迎え春の息吹を感じる季節が訪れていることでしょう。ティンパーはまだまだ寒いですが、2月5日のロサ（ブータン暦の正月）を境に暖かい春が訪れることを期待しています。

さて、ブータンの多くの学校は2か月間の冬休みを終えて、ロサ明けから新学期が始まります。しばらく見なかった制服姿（ゴノキラ）の学生が街に帰ってきます。今号では、ブータンの教育システムと、冬休み中のブータン小学生を対象にした JICA Winter Camp についてレポートします。

ブータンの教育システム

現代日本は高校卒業まで 6-3-3 で 12 年の教育システムですが、ブータンは 7-2-2-2 で 13 年間の公教育を受けるシステムになっています。日本の小学校にあたる Primary School では、6 歳から入学できる Pre-Primary が 1 年、その後 Class 1 から 6 までを合わせて 7 年間学びます。その後 Class 7 から 12 までの Secondary School が続きますが、その中でも Lower/Middle/Higher-Secondary の 3 段階に分かれています。Class 7 から 8 までの Lower Secondary と Class 9 から 10 までの Middle Secondary School は日本の中学校に相当します。Class 10 までが基礎教育という位置付けで、義務であり、無償です。Higher Secondary School (Class 11 から 12) は日本の高校に相当します。

Education System in Bhutan		クラス名称	日本の相当する教育機関
Tertiary (College)			大学
Secondary	Higher	Class 11-12	高校
	Middle	Class 9-10	中学校
	Lower	Class 7-8	
Primary		Class 1-6	小学校
	Pre-Primary	Class PP	なし（予備学校、入学6歳から）

日本と違うところは節目の学年（Class 6, 8, 10, 12）で進級試験があることです。落第することもあるし、良い成績を収めれば上位の Higher Secondary School の学費を政府に支給してもらうこともできます。ブータンは実はかなりの学歴社会で、将来いい職業に就くため

や、政府の奨学金を得て海外留学するためにも、これらの試験は人生を左右するほどの大きな意味を持っています。特に Class 10 と 12 の試験は重要で、12 月の試験前は家族ぐるみで試験対策をするので、父母にもかなりの負荷がかかってしまうそうです。子どもの試験が終わった日に、親が打ち上げと称して飲みに行くという話も聞いたことがあります。

ブータンの未就学率は南アジア諸国よりも低く、教育を重視する国の政策が反映されています（参考：[Multiple Indicator Cluster Survey 2010, EPDC](#)）。ただ、学歴至上主義は結果的に子どもたちに情操教育の機会を与えないので、教育の内容、質を高めていくことが課題といえます。そのためにも、試験教科以外の美術や体育を受け持つ JICA ボランティアの役割が重要だと思えます。

JICA Winter Camp

1 月 10 日から 16 日まで、ティンプー県の東隣にあるプナカ県で JICA ブータン事務所主催の Winter Camp が開催されました。対象はプナカ県北隣のガサ県ルナナ村の小学生 28 人。ルナナ村は中国との国境近くヒマラヤの山奥にあり、滋養強壮によいとされる冬虫夏草の産地として知られています。標高が高く冬の寒さが厳しいため、小学生は 3 カ月もある長い冬休みを、暖かいプナカ県で過ごします。その小学生が 1 週間集中して様々なことを学び体験できるように、JICA 関係者が協力し合って Winter Camp を実施しました。

期間中、JICA 事務所スタッフや JICA ボランティア、JICA 事業関係者が、それぞれ得意とする分野の講座を受け持ち、バラエティに富んだカリキュラムが出来上がりました。内容は、運動、ダンス、美術、書道といったボランティアが得意とするものから、IT プログラミング、建設機械といった JICA 事業関係者に協力してもらうものなど、多岐に渡りました。JICA 事務所長も自ら百マス計算や読み聞かせを受け持ち、まさに JICA が総力を挙げて成しえた事業でした。





私は「暗夜行路」というプログラムの実施で協力させていただきました。暗夜行路は倉敷市少年自然の家で体験できる屋外チーム活動で、倉敷市の小学生ならだれもが山の学習のときに経験したことがあるはず。私も小学6年生のときに、目隠しをして山の中をロープを伝って歩き、怖かったけれどもとても感動したのを覚えています。Winter Campのコースは即席で作ったものなので本場ほどではないけれども、ブータンの子どもたちに、暗闇の怖さや、勇気、チームワークの大事さといったものを、少しは感じてもらえたのかなと思います。

